広報いが市

10.1
No.329
2019年（令和元年）10月1日号

【特集】令和元年度第73回芭蕉祭……2
上野天神祭りのダンジリ行事……6
人事行政の運営状況をお知らせします……8
保育所（園）・認定こども園入所児童募集……15
10月の二次救急……27

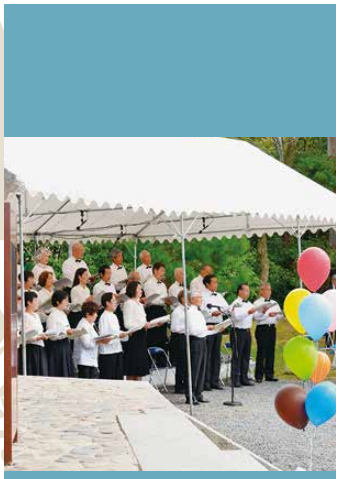
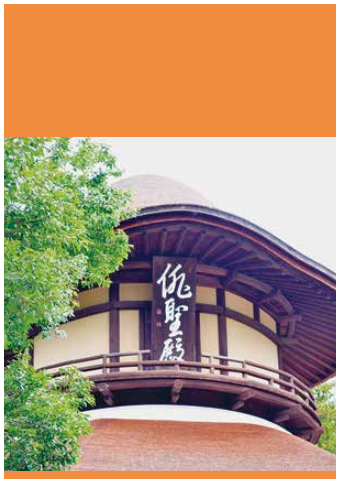
今月の表紙は9月8日に行われたあおやまキャラバン先生と一緒に稲刈り体験の様子。詳しくは23ページをご覧ください。

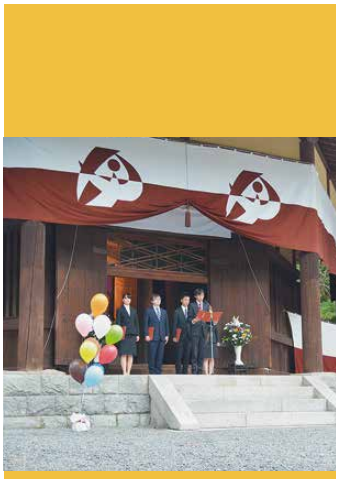
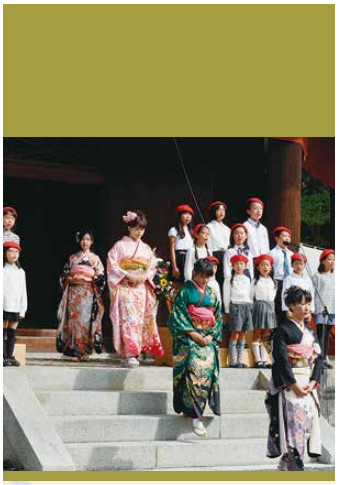
もっと伊賀市を知るアプリ
無料アプリ「マチイロ」
スマホでも広報いが市が読めます。

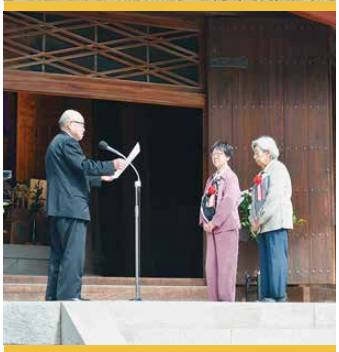
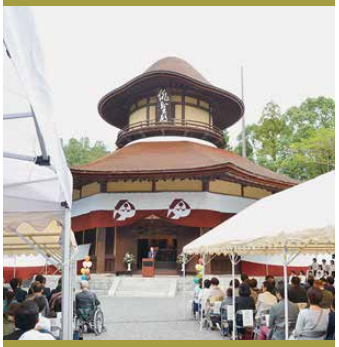
UD FONT ユニバーサルデザイン（UD）の考えに基づいた見やすいデザインの文字を採用しています。

令和元年度 第73回 芭蕉祭

芭蕉祭は、芭蕉翁の業績を称え、遺徳を偲んで、芭蕉翁の命日の10月12日に行います。芭蕉祭にあわせ、芭蕉月間にはセレモニーをはじめ記念講演会や全国俳句大会のほか、各種団体による協賛事業が催され、俳句愛好家や芭蕉翁を慕う人たちが参加し文化薫る歴史のまちの風物詩となっています。

芭蕉翁記念館・蓑虫庵は
10月12日㊏　入館無料！

芭蕉祭　式典

○とき：10月12日㈯

◆墓前式典
午前8時30分～　愛染院　故郷塚

◆献花・献菓
○午前9時10分～
伊賀鉄道忍者市（上野市）駅前
芭蕉翁銅像
○午前9時20分～　旧市役所庁舎前
芭蕉翁文学碑「自然」

◆芭蕉祭式典
午前9時25分～11時30分
上野公園俳聖殿前
＊俳聖殿内の芭蕉翁座像への献茶・献花・献菓、献詠俳句・連句の披講・奉納
＊献詠俳句特選者、献詠連句特選者、三重県知事賞、芭蕉祭ポスター最優秀賞、絵手紙最優秀賞の受賞者への表彰
＊芭蕉祭フェスティバルバンドの演奏に合わせて、芭蕉祭市民合唱団、芭蕉祭子ども合唱団による「芭蕉さん」、「芭蕉翁讃歌」、「芭蕉」、「奥の細道」の合唱

◆全国俳句大会
当季雑詠　1人3句以内
（未発表句に限ります。）
○とき：10月12日㈯
午後1時30分～4時
投句締め切り
俳聖殿前式典会場：午前11時45分
ハイトピア伊賀5階：午後0時45分
○ところ：ハイトピア伊賀
5階多目的大研修室

◆芭蕉祭ポスター原画展
○とき：9月29日㈰～10月12日㈯
○ところ：ハイトピア伊賀
5階ギャラリー
○とき：10月16日㈬～31日㈭
○ところ：本庁舎
1階市民スペース

◆芭蕉祭短冊展
（児童・生徒の部特選句）
○とき：10月16日㈬～31日㈭
○ところ：本庁舎
1階市民スペース

◆絵手紙展「拝啓　芭蕉さん」
○とき：10月12日㈯～31日㈭
○ところ：銀座の館ギャラリー

◆**芭蕉祭俳句列車（伊賀鉄道）**
芭蕉祭ポスター原画の入賞作品36点と、芭蕉翁献詠俳句児童生徒の部の特選句33句を車内に展示して運行します。
※ポスター原画は印刷したものを展示します。
※列車の運行ダイヤは伊賀鉄道にお問い合わせください。

芭蕉祭記念講演会
ー歌枕俳枕講座ー
○**とき**：10月11日㈮午後1時30分～（受付：午後1時～）
○**ところ**：ハイトピア伊賀 5階多目的大研修室
講師　関西大学名誉教授　藤田　真一さん
演題　「さすらう草の庵 ―芭蕉と鴨長明―」

協賛行事

◆**切手展**
○**とき**：10月11日㈮午前10時～午後3時
12日㈯午前10時～午後4時
○**ところ**：ハイトピア伊賀 5階ギャラリー

◆**瓢竹会（松涛会）茶会**
○**とき**：10月12日㈯午前9時30分～午後3時
○**ところ**：芭蕉翁記念館　茶室

◆**俳画展**
○**とき**：10月12日㈯午前10時～午後4時
○**ところ**：ハイトピア伊賀 5階ギャラリー

◆**野点茶会**
○**とき**：10月12日㈯午前10時～午後3時30分
○**ところ**：芭蕉翁記念館前広場

◆**郵便局臨時出張所**
（切手・はがきの販売）
○**とき**：10月12日㈯午前11時～午後3時
○**ところ**：上野公園レストハウス付近

◆**骨董市**
○**とき**：10月12日㈯・10月13日㈰午前9時～午後4時
○**ところ**：芭蕉翁記念館前広場

◆**くみひも販売**
○**とき**：10月12日㈯午前10時～午後4時
○**ところ**：上野公園レストハウス付近

◆**芭蕉ふるさと連句大会**
○**とき**：10月12日㈯午後1時～5時
○**ところ**：ハイトピア伊賀 5階学習室2

◆**青山讃頌舎（あおやまうたのいえ）**
「絵で観る俳句ー穐月明作品でたどる俳句の歴史ー」
○**とき**：12月23日㈪まで午前10時～午後5時
土・日曜日、祝日開館
○**ところ**：青山讃頌舎（別府718番地の5）
※平日は予約対応しています。詳しくは青山讃頌舎にお問い合わせください。
青山讃頌舎
☎090-9860-6432

今年は芭蕉翁の紀行文「奥の細道」の旅から330年の節目の年です。市では、毎年開催している芭蕉祭に合わせ、記念事業を開催します。

奥の細道紀行330年記念キャラバン隊セレモニー

4月に芭蕉翁が手がけた最初の句集「貝おほひ」を奉納した上野天神宮で、記念事業のシンボルである炎「俳聖の火」が採火され、ゆかりの地を巡っています。その「俳聖の火」が、芭蕉祭に登場し、奥の細道紀行330年PRキャラバン隊である岐阜県大垣市マスコットキャラクターの「おがっきぃ」たちと分火式などのセレモニーを行います。

○とき：10月12日㈯　芭蕉祭式典
○ところ：上野公園俳聖殿前

宮本竹逕展

○とき：10月4日㈮～6日㈰
午前9時～午後5時
○ところ：ハイトピア伊賀　5階多目的大研修室、ギャラリーなど

古川タクさんと楽しむ連句アニメーション「冬の日」

○とき：10月6日㈰　午後1時～4時
○ところ：ハイトピア伊賀　5階多目的大研修室

芭蕉翁記念館特別展「奥の細道」

「奥の細道」の旅から330年を記念して、伊賀に伝わる奥の細道関連の資料を展示しています。ふるさとならではの奥の細道展をお楽しみください。

○とき：12月27日㈮まで
午前8時30分～午後5時
（入館は午後4時30分まで）
○ところ：芭蕉翁記念館

芭蕉翁記念館特別展ギャラリートーク

○とき：10月19日㈯、11月10日㈰、12月7日㈯
いずれも午後1時30分～2時
※芭蕉翁記念館展示室で開催します。（入館料が必要です。）

コラム　奥の細道

元禄2（1689）年、深川（東京都江東区）を出立した芭蕉翁は、東北・北陸を巡り、大垣（岐阜県大垣市）で約5カ月にわたる2,400kmの旅を終えました。この旅をまとめたものが紀行文「奥の細道」です。

「奥の細道」は、旅を終えた数年後、実際の出来事に創作を織り交ぜて記されました。

作品には、旅を終えてから詠んだ句や事実と異なる話が登場します。

例えば、旅立ちの日、見送りの人々と別れる千住で、

行春や　鳥啼魚の　目は涙

の句を詠んだと記されていますが、実際に詠んだ句は

鮎の子の　しら魚送る　別哉

でした。なぜ、実際に詠んだ句ではなく、「行春や」の句としたのでしょうか。それは、作品の最後に登場する句に関係があります。

巻末の句は、旅の終着点である大垣で、現地の人々と別れる際に実際に詠んだ、

蛤の　ふたみにわかれ　行秋ぞ

という句です。

芭蕉翁は、旅の終わりの場面で「行秋ぞ」と詠んだため、旅立ちの場面では、「行春や」を入れた句を詠んだことにしたほうがよいと考え、旅の後で作品のために新しく詠んだとされています。

次に、「卅日、日光山の梺に泊る。（以下略）」の場面は、事実とは異なります。

「卅日」とは、旧暦3月の末日、すなわち30日を表します。しかし、旅をした元禄2年の3月は、29日までしかなかったことが確認されています。

作品に架空の30日の話が登場するのは、話の流れを変える必要があったからではないかと考えられています。

本来の「卅日」である前日の29日には、和歌の名所として知られる室の八島を訪れ、その土地の祭神について触れています。翌4月1日は、日光山を参詣し、徳川家康を祭神として祀る東照宮を紹介しています。どちらも祭神にまつわる内容であるため、間に日光山の梺に泊まったという架空の1日を挟むことで、同じような話を連続させない工夫をしています。

芭蕉翁は全体のバランスや話の流れなどを考慮して、実際の旅に創作を織り交ぜ、紀行文「奥の細道」を完成させました。

【問い合わせ】文化交流課　☎ 22-9621　FAX 22-9619　✉ bunka@city.iga.lg.jp
（公財）芭蕉翁顕彰会　☎ 21-4081　FAX 51-6796

上野天神祭のダンジリ行事

【とき】10月18日㈮～20日㈰

《10月18日㈮》

◆**だんじり宵々山点灯**　※雨天中止
上野東町はじめ、5基宵々山巡行あり
午後7時～9時（本町通り・二之町通り）

《10月19日㈯》

◆**足揃の儀**　※雨天中止
○だんじり巡行
午後1時～4時（本町通り・二之町通りほか）
○鬼行列練行
午後2時～4時（三之町通り）

◆**だんじり宵山巡行**　※雨天中止
午後6時30分～9時頃（本町通り・二之町通りほか）

《10月20日㈰》

◆**神幸祭**
※雨天中止（天候回復の場合、短縮巡行）
○神輿行列巡行・鬼行列・だんじり巡行
午前9時～（東御旅所出発）

《10月24日㈭》

◆**宵宮祭**　午後6時～（上野天神宮）

《10月25日㈮》

◆**例大祭**　午前11時～（上野天神宮）

■関連行事

◆**お囃子演奏**（上野西町・上野向島町・上野鍛冶町・上野魚町・上野東町・上野小玉町）
○10月18日㈮　午後7時頃～

◆**だんじり体験乗車**（上野小玉町）
※一回500円、ちまき付き
○10月18日㈮・19日㈯　午前10時～

◆**蔵出し展**（上野徳居町）
○10月19日㈯　正午～

◆**鬼面展**（上野相生町・上野紺屋町・上野三之西町・上野徳居町）
○県指定文化財　鬼面12面展示（上野紺屋町）
10月19日㈯　午後1時～5時
10月20日㈰　午前9時～5時
○県指定文化財　鬼面6面展示（上野三之西町）
10月19日㈯～20日㈰　午前10時～午後4時

◆**見送り幕ライトアップとお囃子演奏**（上野新町）
10月18日㈮　午後6時30分～

◆**じばさんまつり**（ハイトピア伊賀多目的広場）
○10月19日㈯　午前10時～午後9時
○10月20日㈰　午前10時～午後7時

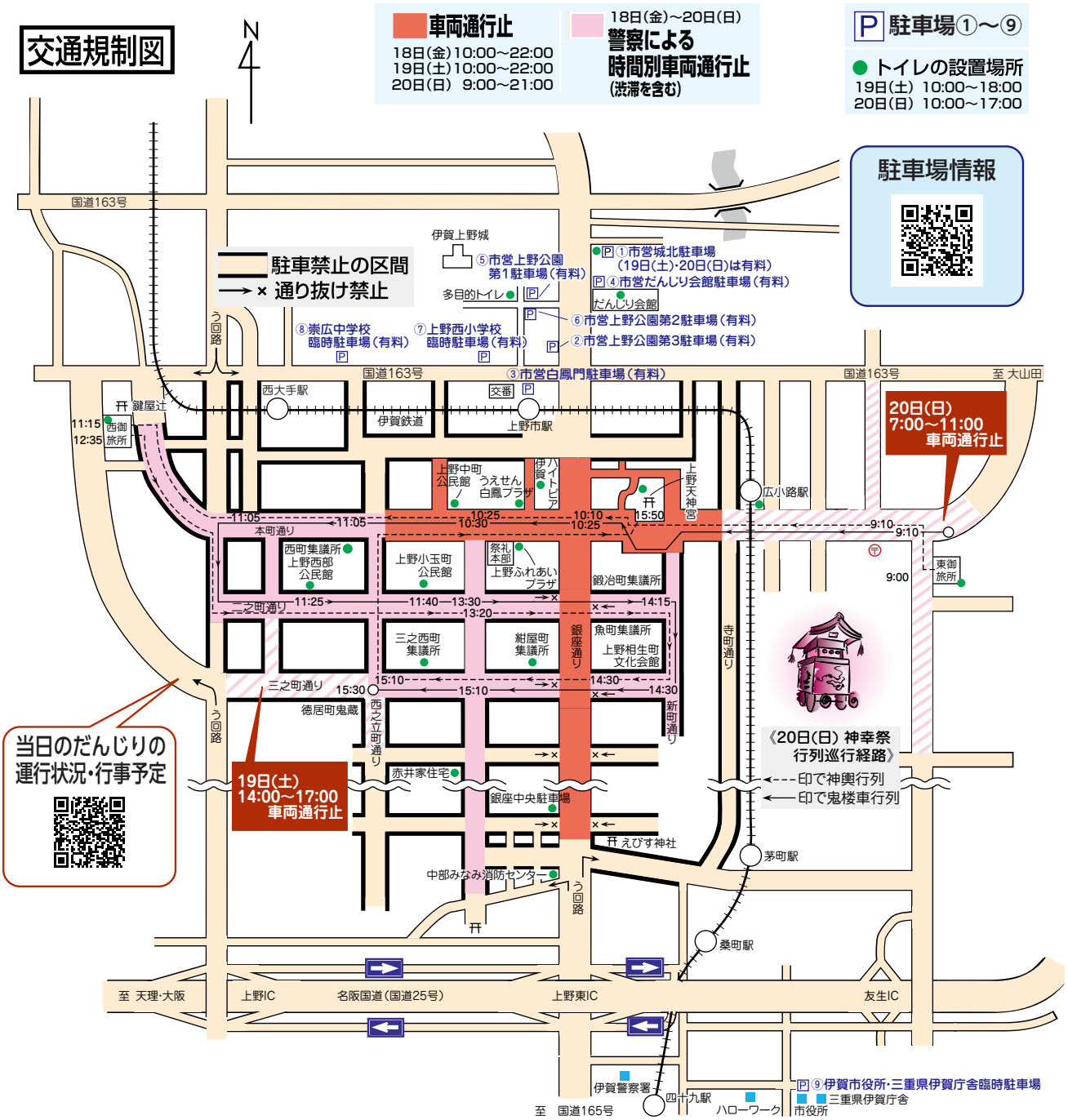
※各行事の時間や場所、内容は都合により変更する場合があります。詳しくは、上野天神祭公式ホームページをご覧ください。

～上野支所管内のごみ収集は平常通り行います～

期間中の可燃ごみの収集は平常通り行います。
当日は**必ず朝８時までに**集積場所へお出しください。

【問い合わせ】　さくらリサイクルセンター　☎20-9272　FAX 20-2575

ダンジリ行事期間中の交通規制



※祭会場付近の道路は昼夜混雑しますので、う回にご協力ください。
※神輿・だんじり・鬼行列の予定時刻は、当日の天候や交通状況などで変更になる場合があります。
※ごみ持ち帰り運動を実施しています。ごみは持ち帰って決められた収集日に出しましょう。
※上野天神祭開催に伴う交通規制のため、上野コミュニティバス「しらさぎ」・三重交通バスは一部う回運行または運休となります。

【問い合わせ】
○**上野天神祭について**：上野天神祭地域振興実行委員会（上野商工会議所内） ☎21-0527
(一社)伊賀上野観光協会 ☎26-7788
観光戦略課 ☎22-9670 FAX 22-9695 ✉kankou@city.iga.lg.jp
○**公共交通の運行について**：交通政策課 ☎22-9663 FAX 22-9694 ✉koutsuu@city.iga.lg.jp

伊賀市の人事行政の運営状況をお知らせします

【問い合わせ】　人事課　☎ 22-9605　FAX 22-9742
✉ jinji@city.iga.lg.jp

◉職員数の状況

昨年４月１日と比較すると、一般行政部門で２人の増、特別行政部門で１人の増、公営企業等会計部門で１人の減となっており、市全体では２人の増となっています。

◎部門別の職員数（各年４月１日現在　単位：人）

区　分		職員数（H 30）	職員数（H 31）	増減
一般行政部門	議　会	7	7	0
	総務企画	186	190	4
	税　務	36	36	0
	民　生	255	252	-3
	衛　生	54	54	0
	労　働	0	0	0
	農林水産	32	32	0
	商　工	12	12	0
	土　木	72	73	1
	小　計	654	656	2
特別行政部門	教　育	114	118	4
	消　防	178	175	-3
	小　計	292	293	1
公営企業等会計部門	病　院	231	238	7
	水　道	32	30	-2
	下水道	12	12	0
	その他	45	39	-6
	小　計	320	319	-1
合　計		1,266	1,268	2

◉職員の給与の状況（平成 31 年４月１日現在）

◎平均給料月額・平均給与月額・平均年齢の状況

区　分	平均給料月額	平均給与月額	平均年齢
一般行政職	337,400 円	443,000 円	44.5 歳
現業職	315,838 円	351,871 円	54.0 歳

（注）給与とは、基本給である給料に期末手当、勤勉手当、時間外勤務手当などの諸手当を含んだもの

◎職員の初任給の状況

区　分		初任給	採用２年経過給料月額
一般行政職	大学卒	180,700 円	192,400 円
	高校卒	148,600 円	157,000 円
現業職	高校卒	148,600 円	157,000 円

◎職員の経験年数別・学歴別平均給料月額の状況

※百円未満四捨五入

区　分／経験年数		10 年以上 15 年未満	15 年以上 20 年未満	20 年以上 25 年未満	25 年以上 30 年未満
一般行政職	大学卒	267,200 円	310,600 円	355,900 円	392,300 円
	高校卒	222,300 円	273,400 円	313,800 円	357,000 円
現業職	高校卒	——	240,400 円	——	318,500 円

◎特別職の報酬などの状況

特別職の給料と議員報酬の月額などは、市長が必要に応じて、市民の代表者などで構成する「特別職報酬等審議会」の意見を聴き、条例で定めています。

※期末手当基礎額の報酬月額は、20％の加算措置があります。

※教育長は、別途、扶養手当・勤勉手当が支給されます。

区　分	報酬月額など	期末手当	
		6 月期	12 月期
市　長	924,000 円	1.725 月	1.875 月
副市長	716,000 円		
教育長	591,500 円	1.3 月	1.3 月
上下水道事業管理者	570,000 円	1.725 月	1.875 月
議　長	530,000 円	1.6 月	1.7 月
副議長	467,000 円		
議　員	423,000 円		

◎職員の採用と退職状況

職員の採用は、定員管理方針に基づき、行政需要の動向や退職者数などを考慮して行っています。

◎退職者数（平成 30 年度　単位：人）

区　分	定年退職	勧奨退職	普通退職等	合　計
市長部局など	22	3	37	62
消防部局	3	0	3	6
教育委員会	0	0	2	2
上下水道部局	0	0	0	0
合　計	25	3	42	70
再任用・任期付	—	—	13	13

◎職種別採用者数（平成 31 年 4 月 1 日採用　単位：人）

職　種	採用者数	うち女性	採用区分
事務職	14	5	競争試験
技術職	2	0	
保育士	11	11	
保健師	1	1	
社会福祉士	1	0	
消防職	3	0	
司書	1	1	
合　計	33	18	
医師	3	0	選　考
薬剤師	2	1	
臨床工学技士	1	0	
歯科衛生士	2	2	
理学療法士	1	0	
看護師	5	3	
医療事務専門職員	1	0	
介護福祉士	1	1	
教育公務員	2	0	
上下水道技能職員	1	0	
合　計	19	7	
事務職	4	2	再任用
技術職	2	0	
保育士	2	2	
消防士	2	0	
技能労務職	7	7	
合　計	17	11	

◎分限と懲戒処分の状況

分限処分は、公務能率を維持するために、心身の故障や職に必要な適格性を欠くなど一定の事由がある場合に、職員の意に反する不利益な身分上の変動をもたらす処分です。その種類として、免職、降任、休職、降給があります。なお、平成 30 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日までの実績は休職処分が 85 件（19 人）でした。

懲戒処分は、職員が法令や職務上の義務などに違反した場合に道義的責任を問うことにより、公務における規律と秩序を維持するための処分です。その種類として、免職、停職、減給、戒告があります。

市民の皆さんからの信頼を確保していくために、今後とも服務規律の遵守の徹底を図るとともに、不祥事が発生した際には厳正に対処します。なお、平成 30 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日までの処分実績は免職処分が 1 件（1 人）、減給処分が 1 件（1 人）、戒告処分が 1 件（1 人）、停職処分はありませんでした。

※カッコ内は、実人数です。

◎職員手当の状況（一般会計）

①期末手当・勤勉手当・退職手当

期末手当 勤勉手当		期末手当	勤勉手当
	6 月期	1.3 月分	0.925 月分
	12 月期	1.3 月分	0.925 月分
	計	2.6 月分	1.85 月分
	※職務の級などによる加算措置があります。		
退職手当 ※支給率は、平成 31 年 4 月 1 日現在のものです。	（支給率）	自己都合	定年・勧奨
	勤続 20 年	19.6695 月分	24.586875 月分
	勤続 25 年	28.0395 月分	33.27075 月分
	勤続 35 年	39.7575 月分	47.709 月分
	最高限度額	47.709 月分	47.709 月分
	その他の加算措置		
	定年前早期退職特例措置 2 ～ 20％加算		
	一般職員 1 人当たり平均支給額（平成 30 年度）		
	自己都合など　4,251 千円		
	定年・勧奨　15,568 千円		

②特殊勤務手当（平成 30 年度分）

職員全体に占める手当支給対象職員の割合	23.7％
支給対象職員 1 人当たり平均支給年額	99,000 円
手当の種類	11 種類
支給されている手当：消防業務手当・夜間特殊作業手当・出動手当（消防活動）・出動手当（救急業務）・清掃業務従事手当（ごみ）・清掃業務従事手当（し尿）・防疫作業等従事手当・公害関係業務等従事手当・市税事務従事手当（庁外勤務）・社会福祉事務従事手当（庁外勤務）・救急救命士確保手当	

③時間外勤務手当（平成 30 年度分）

支給総額	270,470 千円
職員 1 人当たり平均支給年額	390 千円

④扶養手当・住居手当・通勤手当・地域手当の状況

扶養手当	配偶者	6,500 円
	子	10,000 円
	父母など（子以外）	6,500 円
住居手当	借家・借間居住者	
	支給対象額	12,000 円を超える額
	最高支給限度額	27,000 円
通勤手当	公共交通機関利用者	
	最高支給限度額	55,000 円
	自動車・バイクなど利用者	
	最高支給限度額 50km 以上	29,800 円
地域手当	支給率（伊賀市）	3％

◎勤務時間その他の勤務条件の状況

1 週間の勤務時間	38 時間 45 分
始業時刻	午前 8 時 30 分
終業時刻	午後 5 時 15 分
休憩時間	正午～午後 1 時

（注）上野総合市民病院や消防署などでは交替制勤務があるため、週 38 時間 45 分を基本に左記と異なる就業時間となります。

情報交流広場
となりまち"い・こ・か"
拡大版

となりまち い・こ・か

（伊賀市）（甲賀市）（亀山市）

三重県伊賀市・亀山市、滋賀県甲賀市の3市による連携記事「となりまち い・こ・か」は、毎月広報紙で各市のさまざまな魅力を発信しています。

今回は拡大版として、みなさんにぜひ出かけていただきたい公共施設を紹介します。

秋のおでかけに、ちょっととなりまちへいこか！

【問い合わせ】伊賀市広聴情報課　☎22-9636
甲賀市秘書広報課　☎0748-69-2101
亀山市政策課広報秘書グループ　☎0595-84-5021

伊賀市

① 芭蕉翁記念館

松尾芭蕉が若いころに過ごしたふるさと伊賀上野の町並みには、当時のおもかげが偲ばれ、最初の句集『貝おほひ』を奉納した上野天神宮など、芭蕉翁ゆかりの史跡も多く残ります。

芭蕉翁が遺した手紙など貴重な資料を守り伝える芭蕉翁記念館もその一つで、10月12日の芭蕉祭にあわせて特別展を開催します。特に今年は奥の細道紀行330年という節目の年にあたることから「奥の細道」をテーマとして、貴重な資料を紹介します。

開館時間　午前8時30分～午後5時（最終入館：午後4時30分）
展示替休館あり
入館料　大人300円　団体（20人以上）200円
生徒・児童100円　団体（20人以上）60円
場所　上野丸之内117番地の13
問い合わせ　芭蕉翁記念館
☎21-2219　FAX 22-9619

▲芭蕉翁記念館

展示室▼

② 伊賀焼伝統産業会館

伊賀の北部、丸柱にある伊賀焼伝統産業会館は、伊賀焼を幅広く紹介する施設です。伊賀焼の振興と後継者の育成を図るため、伊賀焼の製造過程や古今の伊賀焼の名品を展示するほか、伊賀焼の作陶体験や技術指導を行う実技研修室を備えています。

ほかにも昔に使われていた道具や、当時の窯の跡地から発掘された陶片が展示されており、伊賀焼の奥深い魅力に触れることができます。

開館時間　午前9時～午後5時
休館日　月曜日（月曜日が祝日または振替休日の場合、その翌日）
場所　丸柱169番地の2
問い合わせ　伊賀焼伝統産業会館
☎44-1701

伊賀焼伝統産業会館
内観

甲賀市

① 甲賀の奥座敷大河原温泉 かもしか荘

かもしか荘は、雄大な自然に囲まれた静かな温泉宿です。地元・滋賀のとれたて新鮮食材や日本三大和牛「近江牛」で作る創作料理や四季折々の景色を堪能できる露天風呂などをお楽しみいただけます。

周辺にはオートキャンプ場もあり、大自然の中でアウトドアを満喫することができます。レストランのみ、温泉のみのご利用も可能です。

▼[レストラン]
営業時間　昼食：午前11時～午後3時（最終入店午後2時）
夕食：午後5時30分～9時（最終入店午後7時）

▼[温泉]
営業時間　午前11時～
※終了時間は日によって異なります。事前にご確認ください。

料金　12歳以上 500円、65歳以上 400円、12歳未満 250円
場所　滋賀県甲賀市土山町大河原1104番地
問い合わせ・予約先　大河原温泉　かもしか荘
☎ 0748-69-0344
FAX 0748-69-0370

滋賀の食材を使用した料理▼

▲大自然に囲まれたかもしか荘

② 甲賀もちふる里館

甲賀もちふる里館は、甲賀市の特産品「滋賀羽二重糯（ぶたえもち）」というもち米を地域おこしに活用するために開館しました。館内では、つきたてのおもちやぜんざい、米粉を使ったスイーツなどを食べたり、お土産を購入したりできます。

よもぎがたっぷり入った「よもぎ餡もち」は、毎日売り切れるほどの人気商品です。

営業時間　午前8時30分～午後6時30分
（軽食コーナー：午前10時30分～午後4時30分　ラストオーダー午後4時）
場所　滋賀県甲賀市甲賀町小佐治2121番地1
問い合わせ　甲賀もちふる里館
☎・FAX 0748-88-5841

こんなに伸びます▼

▼米粉麺とおもちのセット

亀山市

① 関の山車（やま）会館

関の山車会館は、令和元年7月6日に開館。主屋、離れ、土蔵、山車収蔵展示棟の４棟の建物があります。館内では祭りに曳き出される山車とその付属品を保存・展示するとともに、祭りで演奏されるお囃子などの保存継承活動の場として、山車の祭りに関する歴史資料などを多数展示しています。

開館時間　午前9時～午後4時30分
入館料　一般 300円　団体（30人以上）250円
学生・生徒・児童 200円　団体（30人以上）150円
休館日　月曜日（月曜日が祝日または振替休日の場合、その翌日）
場所　亀山市関町中町531番地
問い合わせ　関の山車会館
☎ 0595-96-1103

関の山車▼

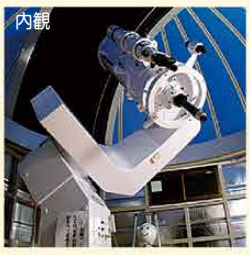
▼関の山車会館

② 天文台「童夢」

天文台「童夢」は、口径400ミリメートル反射望遠鏡と口径115ミリメートル屈折望遠鏡各1台を備え、天体観測を主体として活動を行う「坂下星見の会」をはじめとした天文台スタッフが望遠鏡の操作と星の解説を行います。

利用時間　午後6時30分～午後9時30分
※無料開放日以外は完全予約制です。1週間前までに電話でお申し込みください。
利用料　1人 100円
※月に一度無料開放を行っています。
場所　亀山市関町沓掛123番地
鈴鹿峠自然の家内
申込先・問い合わせ　亀山市教育委員会
生涯学習課　社会教育グループ
☎ 0595-84-5057
※無料開放日当日のお問い合わせは、
☎ 090-5114-1670までお電話ください。

天文台（童夢）



内観

国民年金のはなし

障害基礎年金をご存知ですか

国民年金加入中または20歳になる前の病気やけがなどで、法令に定められている障がい（障害等級の1級・2級）の状態になった場合に請求をすることにより障害基礎年金が支給されます。

◆平成31年4月分からの年金額（定額）

975，125円（1級）
780，100円（2級）

※身体障害者手帳の等級とは異なります。

障害基礎年金の受給権者が受給権を得たときや得た後、その人によって生計を維持されている子※1がいる場合は、子の人数によって加算があります。

※1…18歳になる年度の末日までの子または障害等級1級・2級の障がいの状態にある20歳未満の子

◆年金を受けられる要件

次のいずれかの条件に当てはまる人に支給されます。

○日本国内に住所があり、初診日（病気やけがで初めて医師の診療を受けた日）に国民年金の被保険者の人または、国民年金の被保険者であった60歳以上65歳未満の人（老齢基礎年金を繰り上げて受給している人は除く。）で、初診日の属する月の前々月までの全被保険者期間に3分の2以上の保険料を納めた期間（保険料免除期間、若年者納付猶予期間、学生納付特例期間を含む。）があるか、初診日の属する月の前々月までの直近1年間に保険料未納期間がない人。

○20歳になる前に初診日があり、障害認定日※2に法令で定められている障害等級表の1級または2級の障がいの状態になった人、または障害認定日に該当しなかった人が65歳になる前日までに該当するようになった人。（ただし、20歳になる前の傷病で障害年金を請求する場合、納付要件は問われませんが、本人の所得制限があります。）

※2…障がいの程度を定める日のこと。原則として、病気やけがにより初めて医師の診療を受けた日から1年6カ月を経過した日、または1年6カ月以内に症状が固定した日のことをいいます。

産前産後期間の国民年金保険料が免除できます。

出産予定日または出産日が属する月の前月から4カ月間（多胎妊娠の場合は3カ月前～6カ月間）の国民年金保険料が免除できます。（平成31年4月分保険料～）

※出産とは、妊娠85日以上の出産をいいます。（死産、流産、早産の場合を含む。）

【対象者】

国民年金第1号被保険者で、出産日または出産予定日が平成31年2月1日以降の人

【申請方法】

出産予定日の6カ月前から届出できます。保険年金課または各支所住民福祉課で申請してください。

【必要なもの】

- 出産予定日（出産日）のわかるもの（母子手帳など）
- 本人確認できるもの（運転免許証など）
- マイナンバーまたは基礎年金番号のわかるもの
- 印鑑

【問い合わせ】

○保険年金課
☎22・9659
FAX26・0151
✉hoken@city.iga.lg.jp

○各支所住民福祉課

○津年金事務所
☎059・228・9112

◆皆さんの力作をお待ちしています

市展「いが」に出品しませんか

【問い合わせ】文化交流課 ☎22・9621 FAX22・9619 ✉bunka@city.iga.lg.jp

皆さんに造形芸術の創作意欲を高めていただくとともに、文化に親しんでいただくために市展「いが」（伊賀市民美術展覧会）を開催します。

第15回市展「いが」（伊賀市民美術展覧会）

【とき】
令和2年3月18日㈬～22日㈰
午前10時～午後7時
※22日は午後4時まで

■ギャラリーコンサート
令和2年3月20日㈮
午前11時～
午後1時30分～

■ホールコンサート
令和2年3月22日㈰
午後3時～

【ところ】
伊賀市文化会館

【部　門】
○絵画
○彫塑工芸
○写真
○書

【展示作品】
公募作品のうち、審査の結果入賞・入選した作品や*無鑑査の作品など
*無鑑査の作品…過去の入選実績により、審査が不要と認められた作家の作品

【公募出品者資格】
2004（平成16）年4月1日以前に生まれた市内在住・在勤・在学・出身の人

【公募出品規定】
出品点数：1部門につき1人1点まで（自己の制作した未発表の作品に限ります。）
※ほかの公募展に入賞・入選した作品や、新聞・雑誌などに掲載された作品などは出品できません。（グループ展・個展への出展作品は未発表作品とみなします。）
※作品の大きさ・額装などの規定は、必ず募集要項でご確認ください。

【表　彰】
審査の結果、優秀な作品には次の賞が贈られます。
○市展「いが」賞
○議長賞
○教育委員会賞
○ぶんと理事長賞
○岡田文化財団賞
○伊賀上野ケーブルテレビ賞
○上野商工会議所会頭賞
○伊賀市商工会長賞
○奨励賞

【作品搬入】
令和2年3月3日㈫
正午～午後7時
伊賀市文化会館

【公開審査】
令和2年3月5日㈭
伊賀市文化会館
書：午前10時～
絵画・彫塑工芸・写真：午後1時～

【表彰式】
令和2年3月22日㈰午後2時～

【作品講評会】
令和2年3月22日㈰午後4時～

募集要項・出品申込書は10月1日㈫から次の場所で配布します
○文化交流課（芭蕉翁記念館）
○本庁舎総合受付
○各支所振興課
○各公民館
○上野図書館
○伊賀市文化会館
○あやま文化センター
○青山ホール
○各地区市民センター
※市ホームページからもダウンロードできます。

◆ 令和元年度認定

伊賀ブランド「IGAMONO」が決定しました

【問い合わせ】商工労働課　☎ 22-9669　FAX 22-9695　✉ shoukou@city.iga.lg.jp

IGAMONO 伊賀

伊賀ブランド推進協議会では、伊賀の風土と暮らしが育み、伊賀の匠の知恵と技が結集した優良な伊賀産品とその生産または製造などに携わる事業者を伊賀ブランドに認定しています。

令和元年度は、３点の品と３人の事業者を認定しましたので紹介します。

伊賀牛時雨煮巻き

株式会社　きねや

三重大学伊賀研究拠点監修　焼きショコラ

有限会社　モンパクトル

ボロンボロンジャム

おさきジャム工房

８月28日に行われた認定証授与式の様子

今後、協議会では全国や海外に伊賀の魅力を知ってもらうため、「ひそかに育んだ魅力あふれる伊賀もの〝伊賀流逸品〟」をコンセプトに、官民一体となって IGAMONO を伊賀の代表産品として積極的に発信し、販路拡大や商品開発などの新たな事業を展開していきます。

皆さんの応援をよろしくお願いします。

◆伊賀ブランドホームページ

http://www.igamono.org/

認定品や事業者の詳しい説明などをご覧いただけます。

◆ 保育所（園）・認定こども園に入所（園）を希望する皆さんへ

保育所(園)・認定こども園の入所児童募集

【問い合わせ】保育幼稚園課　☎ 22-9655　FAX 22-9646　✉ hoyou@city.iga.lg.jp

来春４月以降に保育所（園）・認定こども園（保育所部分）への入所を希望する児童を募集します。

【対象児】

市内在住で、保護者の仕事などのために保育施設での保育を必要とする０歳児*から５歳児までの児童

＊０歳児…保育所（園）：生後57日目の翌月から入所できます。
認定こども園（保育所部分）：生後６カ月目から入所できます。

【申込書配布開始日】 10月７日(月)

【申込書配布場所】 下の表にある各保育所（園）・認定こども園、保育幼稚園課、各支所住民福祉課

【申込期間】

10月15日(火)～31日(木)
午前8時30分～午後5時（土･日曜日、祝日を除く。）

※令和２年度中に出産を予定している人や、現在育児休業中で年度途中に職場復帰する人など、年度の途中からの入所を希望する場合も必ずこの期間に申し込んでください。

※出産予定の児童の入所申込をする場合は、児童名の欄は空欄にして提出してください。

【申込先】

第１希望の保育所（園）・認定こども園

◆保育所（園）

公立保育所(園)	所在地	延長	予定定員	電話番号
猪田保育所	猪田	○	60人	21-4720
依那古保育所	市部	○	75人	37-0311
依那古第２保育所	上郡		40人	37-0375
神戸保育所	上神戸	○	40人	38-1303
しろなみ保育所	久米町		90人	21-1866
新居保育所	西高倉	○	100人	21-2952
柘植保育園	柘植町	○	80人	45-2125
西柘植保育園	新堂		90人	45-3178
壬生野保育園	川東		70人	45-3179
希望ヶ丘保育園	希望ヶ丘		90人	45-7111
島ヶ原保育所	島ヶ原		60人	59-3058
あやま保育所	馬場	○	140人	43-0120
ともだ保育所	中友田		40人	43-1077
たまたき保育所	玉滝	○	40人	42-1602
大山田保育園	平田	○	160人	47-0002
さくら保育園	阿保	○	190人	52-0136

私立保育園	所在地	延長	予定定員	電話番号
曙保育園	上野徳居町	○	200人	21-2222
睦保育園	上野桑町	○	100人	21-2244
三田保育園	三田		50人	21-1965
中瀬城東保育園	西明寺	○	140人	21-1937
友生保育園	上友生		60人	21-4804
花之木保育園	大内		50人	23-1048
予野保育園	予野		20人	39-0822
長田保育園	長田		40人	21-3855
古山保育園	蔵縄手		20人	39-0820
みどり保育園	上野車坂町	○	200人	23-0204
ひかり保育園	小田町	○	120人	23-0139
みどり第二保育園*	緑ケ丘本町	○	105人	23-5071
府中保育園	東条	○	140人	23-8393
ゆめが丘保育園	ゆめが丘	○	200人	22-9955

○印の保育所（園）では、平日午後７時まで延長保育を行っています。

◆認定こども園

私立認定こども園	所在地	予定定員	電話番号
認定こども園 青山よさみ幼稚園	柏尾	51人	52-0433

＊…みどり第二保育園は改築のため、仮園舎での保育となります。
場所：長田小学校（長田2312番地の１）
期間:令和２年４月下旬～令和３年２月中旬（予定）

※詳しくは各保育所（園）・認定こども園へお問い合わせください。

※申込状況などにより、希望の保育所（園）・認定こども園に入所できないことがありますので、あらかじめご了承ください。

◆ インフルエンザの予防には予防接種が効果的です

インフルエンザの予防接種を受けましょう

【問い合わせ】健康推進課　☎ 22-9653　FAX 22-9666　✉ kenkousuishin@city.iga.lg.jp

乳幼児や 65 歳以上の高齢者、慢性の持病がある人は、感染すると重症化しやすいので、流行する前に予防接種を受けましょう。

◆実施内容

		乳幼児インフルエンザワクチン	高齢者インフルエンザワクチン
対象期間		10 月 15 日㈫～ 令和 2 年 1 月 31 日㈮	
対象者		接種日現在、伊賀市に住民登録がある平成 25 年 4 月 2 日以降に生まれた人	接種日現在、伊賀市に住民登録があり、①または②に該当する人 ① 65 歳以上の人 ② 60 歳以上 65 歳未満で、心臓・腎臓・呼吸器の機能不全またはヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能の障がいで身体障害者手帳 1 級相当の人
接種方法	市内の医療機関	○予防接種を希望する医療機関に直接予約してください。 ○医療機関窓口で費用から**助成額（1,500 円／回）**が差し引かれます。 ※対象期間中に**2 回まで**助成します。 ※市へ申請する必要はありません。	○予防接種を希望する医療機関に直接予約してください。予診票は各医療機関にあります。 ○**自己負担額（2,000 円）**をお支払いください。 ※対象期間中に**1 回**助成します。 ※市へ申請する必要はありません。
	市外の医療機関	市外で予防接種を受けた人は助成額が差し引かれませんが、申請により助成相当額を振り込みます。 **《申請に必要なもの》** ・予防接種を受けたことがわかる領収書 ・印鑑　※スタンプ印不可 ・通帳（振込先が分かるもの） **《申請書提出期限》** 令和 2 年 2 月 28 日㈮ **《申請先》**　健康推進課	市外で接種を希望する人は、接種する日の 1 週間前までに健康推進課にご連絡ください。
持ち物		健康保険証・母子健康手帳	健康保険証

◆市内実施医療機関一覧表（50 音順）

医療機関名	乳幼児	高齢者	医療機関名	乳幼児	高齢者	医療機関名	乳幼児	高齢者
青木整形外科		○	金丸脳脊椎外科クリニック		○	たにぐち皮フ科		○
あきやま腎泌尿器科		○	亀田クリニック		○	谷本整形	○	○
アクアクリニック伊賀	○	○	河合診療所	○	○	中産婦人科緑ヶ丘クリニック	○	○
浅野整形外科内科		○	川原田内科		○	梨ノ木診療所	○	○
あずま診療所		○	紀平医院		○	西田整形外科医院		○
あずまクリニック		○	霧生診療所		○	はくほうクリニック		○
阿波診療所	○	○	黒田クリニック	○	○	ひらい小児科クリニック	○	○
伊藤医院		○	佐々木内科		○	広瀬医院		○
猪木内科医院		○	佐那具医院		○	まちしクリニック	○	○
いまむら整形外科		○	嶋地医院		○	松本胃腸内科		○
上野こどもクリニック	○	○	しみずハートクリニック		○	宮本医院		○
上野総合市民病院		○	しもむら整形外科		○	森川病院	○	○
馬岡医院		○	城医院	○	○	森田クリニック		○
おおすみ整形外科		○	滝井医院	○	○	ゆめが丘クリニック	○	○
大西医院		○	竹沢医院		○	吉村クリニック		○
おおのクリニック		○	竹沢内科歯科医院		○			
岡波総合病院	○	○	竹代クリニック		○			

お知らせ コミュニティ助成事業

㈠財㈡自治総合センターでは、宝くじの社会貢献広報事業として、受託事業収入を財源にコミュニティ助成事業を実施しています。

この宝くじの助成金により、地域コミュニティ活動の活性化を図るため、富永区ではエアコンを富永公民館に設置しました。また、富永地内にある既存の防犯灯を LED 防犯灯に取り替えました。

【問い合わせ】
大山田支所振興課
☎ 47-1150　FAX 46-0135

お知らせ 夕暮れ時、ちょっと早めのライト・オン運動

夕暮れ時は交通事故が多発する傾向にあり、日没が早くなるこれからの時期は、帰宅時間帯のラッシュと重なり、一層の注意が必要です。

自動車・オートバイ・自転車の運転時には、夕暮れ時の早めのライト点灯を心がけましょう。

歩行者や、自転車を運転する人は、タスキや腕章などの反射材を着用して安全を確保し、交通事故防止に努めましょう。

【運動期間】
10 月 1 日㈫～ 12 月 31 日㈫
【推進事項】
○夕暮れ時または天候に応じた早めのライト点灯（自動車、オートバイ、自転車）
○反射材の着用推進（歩行者、自転車利用者）
【問い合わせ】　市民生活課
☎ 22-9638　FAX 22-9641

献血のご案内

● **10 月 29 日㈫**
午前 9 時 30 分～ 11 時 30 分
午後 1 時～ 4 時
伊賀市役所　1 階ロビー
【問い合わせ】
健康推進課
☎ 22-9653
FAX 22-9666

お知らせ 行政相談週間

◆困ったら 一人で悩まず 行政相談

行政相談は、国や NTT などの特殊法人などの仕事について、皆さんから苦情や意見、要望をお聞きし、その解決の促進を図る制度です。

国では、皆さんにこの行政相談を知っていただき、利用していただくために、10 月 7 日㈪～ 13 日㈰を「行政相談週間」としています。

年金・保険・税金・登記などについて、お気軽に行政相談委員までご相談ください。

※行政相談委員は、総務大臣が委嘱している民間有識者で、皆さんの身近な相談相手です。相談は無料で相談者の秘密は固く守ります。

【問い合わせ】
三重行政監視行政相談センター
行政相談窓口
☎ 059-227-1100
【担当課】
市民生活課

お知らせ 秋の読書週間

10 月 27 日㈰～ 11 月 9 日㈯は「秋の読書週間」です。また、読書週間が始まる 10 月 27 日は「文字・活字文化の日」です。

電子メディアの発達によって、世界の情報伝達の流れは大きく変わってきていますが、豊かな人間性を育てるために、「本」が重要な役割を果たしていることは変わりません。

読書週間を機に、図書館などで本との出会いを楽しんでみてはいかがでしょうか。

【問い合わせ】
生涯学習課
☎ 22-9679　FAX 22-9692

伊賀市の人口・世帯数
（令和元年 8 月 31 日現在）
人口　91,421 人
（男）44,891 人
（女）46,530 人
世帯数　40,557 世帯

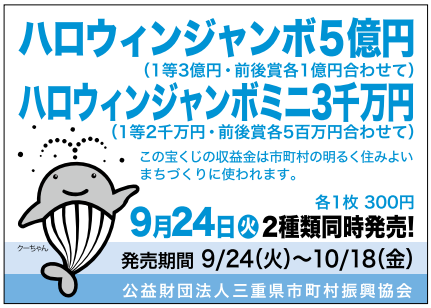
三重とこわか国体

開催まであと **725** 日
広報・運営・応援
ボランティア募集中

【問い合わせ】
国体推進課
☎ 43-9100　FAX 43-9102

お知らせ 宝くじ収益金の社会貢献

ハロウィンジャンボ宝くじ（市町村振興宝くじ）の収益金は、市町が行う災害対策や、道路・公園・文化施設・福祉施設の整備、地域医療の充実支援など、よりよいまちづくりのために使われます。



【問い合わせ】
㈶三重県市町村振興協会
☎ 059-225-2138
【担当課】
地域づくり推進課

今月の納税

●納期限　10 月 31 日（木）

納期限内に納めましょう
市県民税（3 期）
国民健康保険税（4 期）
※納税は便利な口座振替で
【問い合わせ】
収税課　☎ 22-9612

※申し込みの記載がないものは申し込み不要、料金の記載がないものは無料です。

お知らせ 軽自動車税の名称が変わります

10月1日以降、自動車取得税（県税）が廃止され、新しく軽自動車税（環境性能割）が創設されます。新車・中古車を問わず取得した軽自動車の車両（取得価格が50万円を超えるもの）に対して課税されます。

これに伴い、従来の軽自動車税は「軽自動車税（種別割）」に名称が変更されます。税率に変更はありません。

【問い合わせ】
課税課
☎ 22-9613　FAX 22-9618

お知らせ 里親になりませんか

10月は「里親月間」です。里親とは、親の病気などのさまざまな事情で家庭での養育が困難な子どもを自分の家庭に迎え入れて養育していただく、児童福祉法に定められた制度です。里親制度に関心のある人は児童相談所までご相談ください。

【問い合わせ】
伊賀児童相談所
☎ 24-8060
FAX 24-6310
【担当課】
こども未来課

行政情報番組
「ウィークリー伊賀市」

市政情報をお伝えしています。

ケーブルテレビ17チャンネル（青山は204チャンネル）・地上デジタル放送121チャンネルで放送中です。

番組表は、各支所（上野支所を除く。）・各子育て支援センターで配布しているほか、右の2次元コードからもご確認いただけます。

お知らせ 違反建築防止週間

建築基準法令違反の建築物の是正やその発生を予防するため、10月15日㈫～21日㈪に全国一斉に「違反建築防止週間」を実施します。

違反建築物のない安全で安心なまちづくりのため、建築ルールを守りましょう。

○建築物の工事は、「建築確認」を受け、工事監理者を選定して初めて着工できます。
○工事中は、見やすい場所に建築確認済であることがわかるよう表示することが義務づけられています。
○建築物を購入するときは、「確認済証」や「検査済証」を確認し、現地調査を行いましょう。
※違反建築物は、地震や台風などの災害に対して安全性が十分でないことがあります。

【問い合わせ】
都市計画課
☎ 22-9732　FAX 22-9734

お知らせ 三重県最低賃金改定

三重県の最低賃金は、10月1日から27円引き上げられて、「時間額873円」になります。

この最低賃金は、年齢・雇用形態（パート・アルバイトなど）を問わず、三重県内で働く全ての労働者に適用されます。

なお、特定の産業に該当する事業場で働く労働者には、特定（産業別）最低賃金が適用されます。

また、最低賃金の引き上げに対応して、中小企業支援のための業務改善助成金制度や働き方改革推進支援センター無料相談窓口（☎ 0120-111-417）を設けていますのでご活用ください。

【問い合わせ】
三重労働局賃金室
☎ 059-226-2108
【担当課】
商工労働課

「広報いが市」の点字版・録音版を発行しています

希望される場合はお問い合わせください。

【問い合わせ】 障がい福祉課
☎ 22-9657　FAX 22-9662
✉ shougai@city.iga.lg.jp

お知らせ 要約筆記奉仕員・手話通訳者を派遣します

社会生活などでのコミュニケーションを文字や手話にして通訳します。

【派遣対象】
市内在住の聴覚障がい、音声・言語機能障がいの手帳をお持ちで、社会生活をする上で意思を伝えるための仲介者がいない人
※難病患者で同等の障がいであると認められれば、派遣対象となることがあります。詳しくはお問い合わせください。

【派遣地域】
市内（原則）
※利用料は無料です。病院やそのほかの施設で駐車料金などが必要な場合は依頼者負担となります。

【問い合わせ】
障がい福祉課
☎ 22-9656　FAX 22-9662
✉ shougai@city.iga.lg.jp

お知らせ 初めての講師サポート事業採択結果

7月に募集した「初めての講師サポート事業」に申請のあった事業の中から審査の結果、2件の事業を採択しました。12月にハイトピア伊賀で各教室が開催されます。

教室について、詳しくは市ホームページまたは各地区公民館に設置のチラシをご覧ください。

【採択事業】
○健康太極拳教室
○笑顔相続～そのために今できること～

【問い合わせ】
生涯学習課
☎ 22-9637　FAX 22-9692

ご意見をお聞かせください

広報いが市・行政情報番組（ウィークリー伊賀市・文字放送）について、ご意見・ご要望をお聞かせください。

【問い合わせ】 広聴情報課
☎ 22-9636　FAX 22-9617
✉ kouchoujouhou@city.iga.lg.jp

催し 組紐国際会議 2019 伊賀

伝統工芸としての組紐を世界中に再認識していただき、参加者の技術向上や情報共有などを図るため、2007 年に京都で初めて開催された組紐国際会議は、2012 年にイギリス、2016 年にアメリカと、海外での開催を経て、今年は伊賀市で開催されます。

世界中から 170 人を超える参加者が伊賀市を訪れます。市民に向けた作品展では、伊賀の職人の技術が光る作品と海外のクリエイターによる作品が一堂に会します。

【と　き】
10 月 13 日㈰～ 18 日㈮
※作品展は 14 日㈪～ 18 日㈮

【ところ】
○国史跡旧崇広堂（作品展）
○ハイトピア伊賀（基調講演、ワークショップ）

※詳しくは、組紐・組物学会ホームページをご覧ください。

【問い合わせ】
組紐・組物学会事務局（京都工芸繊維大学大学院伝統みらい教育センター内）
☎／FAX 075-724-7844

【担当課】　商工労働課

催し 認知症の人と家族の会「伊賀地域つどい・交流会」

認知症の人を介護する家族の情報交換の場です。

【と　き】
10 月 29 日㈫
午後 1 時 30 分～ 4 時

【ところ】
本庁舎　2 階会議室 202

【料　金】　200 円
（認知症の人は無料。家族の会会員は 100 円）

【問い合わせ】
地域包括支援センター
南部サテライト
☎ 52-2715　FAX 52-2281

催し 大山田収穫まつり 2019

【と　き】
10 月 20 日㈰
午前 9 時 30 分～午後 3 時
※荒天中止

【ところ】
大山田Ｂ＆Ｇ海洋センター駐車場

【内　容】
地域特産品の展示販売、各種団体による出店、郷土芸能・ステージパフォーマンスなど

【問い合わせ】
○大山田収穫まつり実行委員会事務局（布引地域住民自治協議会）
☎／FAX 47-0928
○大山田支所振興課
☎ 47-1150　FAX 46-0135

催し 第 27 回ひじきコスモス祭り

里山の田園風景に広がるコスモス畑を会場に、さまざまなブースが登場します。

【と　き】　10 月 20 日㈰
午前 10 時～午後 3 時
※荒天中止

【ところ】　比自岐小学校周辺

【内　容】
○地元の旬の野菜即売
○答志島の海産物、伊賀米（比自岐産コシヒカリ）の販売やもちつきの実演と試食
○菜種油で揚げたドーナツなどの販売
○ダンス・バンド演奏など舞台アトラクション
○足湯・手裏剣体験

【問い合わせ】
ひじきコスモス祭り（収穫祭）実行委員会（比自岐地区市民センター内）
☎／FAX 37-0029

【担当課】　農林振興課

催し けんずいまつり 2019

「あやまの恵み・食・文化」をテーマにした阿山地域のさまざまな魅力を体感しませんか。

【と　き】
11 月 3 日㈰・祝
午前 10 時～午後 3 時
※荒天中止

【ところ】
阿山Ｂ＆Ｇ海洋センター駐車場

【内　容】
500 人分の大鍋料理・もちつき・ステージイベント・地域特産品の販売・フリーマーケットなど

【問い合わせ】
○けんずいまつり実行委員会事務局（河合地域住民自治協議会）
☎ 43-9800　FAX 43-9810
（丸柱地域まちづくり協議会）
☎／FAX 44-1444
○阿山支所振興課
☎ 43-1543　FAX 43-1679

伊賀の"いいね!"がいっぱい
facebook
伊賀市 公式
フェイスブックページ
2 次元コード ▶

「あんしん・防災ねっと」

携帯電話などのメールアドレスを登録した人には、市から緊急情報メールが届きます。また、災害時の緊急情報・避難所情報や休日・夜間診療所情報などが閲覧できます。
http://www.anshin-bousai.net/iga/

※携帯電話のバーコードリーダー機能で読み込んで登録できます。

【問い合わせ】　総合危機管理課
☎ 22-9640　FAX 24-0444
✉ kikikanri@city.iga.lg.jp

※申し込みの記載がないものは申し込み不要、料金の記載がないものは無料です。

催し 第34回 子どもフェスティバル ～からだをつかってあそぼうよ～

【と　き】
10月26日㈯
午前9時30分～午後3時30分
【ところ】
ゆめドームうえの　第一競技場
【内　容】
○創造力豊かな子どもたちの絵画展示
○体を使って楽しむあそびコーナー
○保健コーナー
○食育コーナー
○伝承あそび
○赤ちゃんひろば
○絵本の読み聞かせ
○放課後児童クラブ共同作品コーナー
○職員による「音楽劇と歌あそび」
【問い合わせ】
㈱伊賀市社会事業協会
☎ 21-5545　FAX 23-6670
【担当課】
保育幼稚園課

募集 みえ糖尿病県民公開講座

「家族みんなで楽しく体験★わかる！糖尿病！」

【と　き】
11月10日㈰　正午～午後4時
（受付：午前11時30分～）
【ところ】
三重県総合文化センター　多目的ホールほか
（津市一身田上津部田1234番地）
【内　容】
○糖尿病専門医による講演会
○血糖値・血管年齢などの測定体験
○子ども健康教室
○ゲームで脳トレ知育　など
【定　員】 400人　※先着順
【申込方法】
往復はがきまたはEメールで代表者氏名・電話番号・参加人数・参加者全員の氏名と年齢を明記の上、下記まで申し込んでください。
みえ糖尿病サポートねっとホームページ（http://mie-dm.net/）からも申し込みできます。
【申込期間】 10月25日㈮必着
【申込先・問い合わせ】
〒514-8507
津市江戸橋二丁目174番地
みえ糖尿病県民公開講座事務局
☎ 059-232-1111
✉ info@mie-dm.net
【担当課】 健康推進課

催し 人権パネル展

◆寺田市民館「じんけん」パネル展「かがやく子ども～すべての子どもが主役～」

【と　き】
10月1日㈫～30日㈬
午前9時～午後5時
※土・日曜日、祝日を除く。
※10月8日㈫・15日㈫は午後7時30分まで延長します。
【ところ】
寺田教育集会所　第1学習室
【問い合わせ】
寺田市民館
☎／FAX 23-8728

◆いがまち人権パネル展「同和問題を解決するために歴史から学ぶこと」

【と　き】
10月8日㈫～24日㈭
午前9時～午後5時
※土・日曜日、祝日を除く。
※10日㈭・17日㈭は午後7時30分まで延長します。
【ところ】
いがまち人権センター
【問い合わせ】
いがまち人権センター
☎ 45-4482　FAX 45-9130

催し 源氏物語絵巻展

11月1日の「古典の日」にちなみ、源氏物語絵巻の印刷本を展示します。絵と仮名の美しい世界をご覧ください。
【と　き】
10月31日㈭～11月27日㈬
午前10時～午後5時
※毎週月曜日と祝日を除く。
【ところ】 青山図書室
【問い合わせ】 青山公民館
☎ 52-1110　FAX 52-1211

広報いが市PDF版

広報いが市PDF版を市ホームページでご覧いただけます。
http://www.city.iga.lg.jp/
※携帯電話のバーコードリーダー機能で読み込んでアクセスできます。

【問い合わせ】 広聴情報課
☎ 22-9636　FAX 22-9617
✉ kouchoujouhou@city.iga.lg.jp

催し いがまち展覧会

【と　き】
10月26日㈯・27日㈰
午前9時～午後4時30分
※27日㈰は午後2時30分まで
【ところ】
いがまち公民館、西柘植地区市民センター　など
【内　容】
絵画・写真・書道・川柳・俳句・生け花・手芸などの展示、特産品などの即売、チャリティーバザーなど
【問い合わせ】
いがまち公民館
☎ 45-9122　FAX 45-9160

催し 伊賀市総合防災訓練

災害に強い地域づくりをめざすために開催します。
ぜひご見学ください。
【と　き】
10月27日㈰　午前中
（午前8時頃から地域住民による参集訓練）
【ところ】
メイン会場：三訪小学校
サブ会場：しらさぎ運動公園
【内　容】
地元住民による避難・安否確認訓練、避難所運営訓練、物資輸送訓練、展示啓発など
【問い合わせ】
総合危機管理課
☎ 22-9640　FAX 24-0444

お薬手帳を1冊にまとめましょう

飲んでいる薬や治療歴の管理ができて安心

複数のお薬手帳を持っている人は、1冊にまとめて適切な管理を行いましょう。
【問い合わせ】 医療福祉政策課
☎ 22-9705　FAX 22-9673

募集 はじめましょう！ノルディックウォーキング

【と　き】
11月22日㈮
午前10時～11時30分
【ところ】
大山田Ｂ＆Ｇ海洋センター周辺（雨天時は大山田Ｂ＆Ｇ海洋センターアリーナ）
集合：大山田Ｂ＆Ｇ海洋センター玄関前
【内　容】
ノルディックウォーキングは、2本のポールを使って歩く全身運動で、初心者でも安心して体験できます。
講師：全日本ノルディック・ウォーク連盟　公認指導員
大久保　慶三さん
【対象者】
18歳以上の人
【定　員】
30人
※定員を超えた場合は抽選となり、結果を通知します。
【申込方法】
電話または市ホームページから申し込むか、生涯学習課または各地区公民館にある申込書に記入の上、下記まで申し込んでください。
※ポールは当日貸し出しができます。（1人200円）
【申込期限】
11月7日㈭
午前9時～午後5時
【申込先・問い合わせ】
〒518-0873
上野丸之内500番地
ハイトピア伊賀　5階
生涯学習課
☎22-9637　FAX22-9692
※土・日曜日、祝日は生涯学習センター（☎22-9801）

「ヘルプマーク」を知っていますか？

援助や配慮を必要とする人が伝えやすく、支援ができる人が気づきやすくなる「おもいやりの絆」をつなげるマークです。
【問い合わせ】　障がい福祉課
☎22-9657　FAX22-9662
✉shougai@city.iga.lg.jp

募集 干支の春展　子どもの部

令和2年1月5日㈰～2月3日㈪、ハイトピア伊賀5階ロビーで開催する「干支の春展　子どもの部」に展示する絵を募集します。
【募集期間】
10月15日㈫～11月29日㈮
午前9時～午後5時
※土･日曜日、祝日も受け付けします。
※平日の夜間は開館しているときのみ受け付けます。
【応募方法】
画用紙に新年の干支（ねずみ）にちなんだ絵を描き、画用紙の裏に住所・氏名・電話番号を書いて上野公民館まで持参してください。
※上野公民館で画用紙を用意していますが、数に限りがあります。
※市販のＡ4サイズの画用紙でも応募できます。
※応募は1人1点です。
【対象者】
市内在住の小学生以下の子ども
【応募先・問い合わせ】
上野丸之内500番地
ハイトピア伊賀5階　上野公民館
☎22-9637
FAX22-9692

募集 法テラス三重 無料法律相談会

【と　き】
10月16日㈬　午後1時～4時
【ところ】
上野ふれあいプラザ
3階ボランティア活動室
【定　員】
6人　※先着順
【申込方法】
電話
【申込期限】
10月15日㈫　午後5時
※次回の開催は12月18日㈬です。
【申込先・問い合わせ】
日本司法支援センター
三重地方事務所（法テラス）
☎050-3383-5470
【担当課】
市民生活課

募集 甲種防火管理再講習

比較的大規模な特定防火対象物の防火管理者には、一定期間ごとに再講習が義務付けられています。
より高度な管理能力と最新の知識と技術を習得するための講習会を行います。
【と　き】
11月8日㈮　午前9時～正午
【ところ】
消防本部　3階研修室
【対象者】
収容人員が300人以上の店舗・病院・集会場・遊技場など、不特定多数の人が入る特定防火対象物の防火管理者に選任されている人
【料　金】　1,400円
【定　員】　30人　※先着順
【申込方法】
写真1枚（横3cm×縦4cm）・印鑑・テキスト代（1,400円）を消防本部予防課まで持参の上、申し込んでください。
【申込期間】
10月15日㈫～25日㈮
【申込先・問い合わせ】
消防本部予防課
☎24-9105　FAX24-9111

募集 介護に関する入門的研修

介護に関する基本的な知識を身につけるとともに、介護の業務に携わる上で知っておくべき基本的な介護技術を学びませんか。
【と　き】
11月18日㈪・25日㈪・12月2日㈪・9日㈪
午前10時～午後4時
○伊賀地区介護事業所見学
12月11日㈬
【ところ】
伊賀市シルバー人材センター（西明寺2782番地の92）
【対象者】　介護に関心を持つ介護未経験者で、全日程を受講できる人
【定　員】　15人
【申込方法】　下記までお問い合わせください。
【申込期限】　11月11日㈪
【申込先・問い合わせ】
㈶介護労働安定センター三重支所
☎059-225-5623
FAX059-225-5633
【担当課】
介護高齢福祉課

世界に一つのだけの万華鏡

こどもちゃれんじ教室（9月7日）

あやま文化センターで、こどもちゃれんじ教室を開きました。

今回は、スライド万華鏡を作りました。スライド万華鏡とは、ピラミッド状に貼った4面の鏡に箱の内側の模様が映り、スライドさせるとどんどん模様が変化していくものです。

参加者は、講師のアドバイスを受けながら一生懸命作業を進め、作品が完成するとスライドさせて、模様の変化を楽しんでいました。

▶集中して万華鏡を作りました。

◀講師の説明をよく聞きました。

◀約600人の参加者が人権について考えを深めました。

▶講師は差別をする側、される側ではなく、なくす側になってほしいと話しました。

人権に関する考えを深めました

上野同和教育研究協議会第34回研究大会（9月7日）

上野同和教育研究協議会研究大会の全体会が伊賀市文化会館で行われました。

この日は三重県人権教育研究協議会会長の川島三由紀さんを講師に招き、記念講演が行われました。

川島さんの教員時代の経験などから、人権課題を解決していく仲間づくりの大切さなどが話されました。

午後からは分科会が開催され、参加者は意見交換などを行いました。

当店には、のスペシャリストが在籍しております。

メガネ　補聴器　時計　宝石　ブライダルリング

廣井時計眼鏡店

伊賀市上野魚町（銀座一丁目）

TEL 0595-21-0881

有料広告を募集します

広報いが市への広告を募集しています。広報いが市は市内の各戸へ配布するほか、市ホームページにも掲載します。

【発行部数】毎号約36，000部

【掲載料】1枠：2万円（縦5㎝×横9㎝）

【申込期限】発行日2カ月前

【問い合わせ】広聴情報課 ☎22・9636

※掲載広告について不明な点は直接広告主へお問い合わせください。

収穫の秋

あおやまキャラバン先生と一緒に稲刈り体験（9月8日）

高尾地内の田んぼで、稲刈り体験と昔遊び体験を行いました。

稲刈り体験では、子どもたちはあおやまキャラバン先生に手伝ってもらいながら、鎌を使い手作業で稲を刈り取りました。はじめは上手く鎌を使えなかった子どもも、慣れてくるとだんだんと上手く刈り取れるようになりました。

稲刈り体験のあとは、昔遊び体験として広場で竹笛を吹いたり、竹とんぼを飛ばしたりして遊びました。

▶親子で一緒に稲刈りを楽しみました。

◀あおやまキャラバン先生に鎌の使い方を教えてもらいました。

小・中学生のためのコラムです

本紙19ページの「組紐国際会議」について、わかりやすく解説します。

こども広場
「組紐国際会議」

■組紐国際会議が始まります

伊賀には「組紐」という世界に誇る伝統産業があります。

その素晴らしさを世界に発信し、世界中の研究者やデザイナーと情報を共有するのが10月13日(日)～18日(金)に伊賀市で開催される「組紐国際会議」です。

組紐国際会議は2007年に京都で第1回が行われ、第2回、第3回は海外で行われました。日本での開催は12年ぶりとなり、組紐産業が盛んな伊賀市が開催地に選ばれました。

今回の会議では170人以上の参加者が世界17カ国から伊賀を訪れます。

ハイトピア伊賀が主な会場となり、世界のデザイナーの技術を見ることができるほか、デザイナーたちが作った作品を見たり買ったりできます。また、国史跡旧崇広堂では、2000年前の組紐なども展示されます。

■伊賀の組紐の歴史

日本の組紐は1,300年以上前から仏具や武士の甲冑などに使われていました。

そんな組紐が伊賀の産業として発展したのは、今から130年ほど前の明治時代の中期ごろです。

組紐の技術が伊賀に伝えられ、帯締めや羽織紐などが盛んに作られるようになり、昭和40年代には90軒近い組紐の店がありました。そして、昭和51年には国から伝統工芸品に指定されました。

■伊賀から世界へ

皆さんも組紐国際会議で、普段見ることのできない世界の組紐を見てみませんか。

また、多くの外国人デザイナーやその家族が伊賀市を訪れます。町や会場で会った時には元気にあいさつをしてみましょう。

そして、忍者だけでなく、伊賀の組紐も世界に誇れる文化ということをアピールしましょう。

【問い合わせ】商工労働課
☎22・9669 FAX22・9695

カラダのこと おしえて！

塗り薬の使い方

「塗り薬ってどれくらい塗ったらいいの？」とよく聞かれます。

塗り薬の塗り方は種類によって違いますが、今回はステロイド外用薬について説明します。

必要な量をしっかり塗りましょう

軟膏・クリーム剤の場合

ローション剤の場合

まず、塗る前に手と患部を清潔にします。塗る量の目安は大人の手の平２枚分に塗る場合で、軟膏・クリーム剤なら人差し指の先端から第一関節までチューブから出した量、ローション剤なら一円玉の大きさ程度の量になります。

塗るときは、強く擦り込まず優しく塗り広げるように塗ってください。

「ステロイド剤は副作用が怖いから」と必要な量より少ない量しか塗らない人がいますが、医師から特に指示がない場合はこの量を目安に必要量をしっかり塗ることが大切です。

薬は清潔に保管しましょう

塗り薬には使用期限が記載されていますが、未開封状態での使用期限のため、開封したあとはチューブの先を清潔に扱うことに気を付け、使用期限内であっても開封されてから長時間たった物は使わないようにしてください。

使い方などは医師の指示に従いましょう

２種類以上の薬が処方されている場合、特に医師からの指示がなければ広い範囲に塗る薬を先に塗ったあと局所に塗る薬を塗ってください。そうすることで局所に効かせたい薬が無駄に広がらず薬の効き目が発揮されやすく、副作用を抑える面でも有効です。

ステロイド外用薬は作用の強さが５段階に分けられます。一般的に顔には弱いもの、体には強いものが処方されることが多いため、医師の指示の場所以外へ塗ることはさけてください。

ステロイド剤は使い方を守れば怖い薬ではありません。わからないことがあれば、医師・薬剤師にご相談ください。

（上野総合市民病院　薬剤課　上甲　亜希）

◆ いきいきと働き続けられる職場をめざしましょう

イクボス講座

【問い合わせ】男女共同参画センター　☎ 22-9632　FAX 22-9666　✉ jinken-danjo@city.iga.lg.jp

市では、子育てや介護を行う家庭を含む全ての家族を、優しく包み込む雰囲気のある地域になるように、「伊賀市まるごとハタラキカタ応援宣言」を行い、いきいきと働き続けられる職場づくりに、地域ぐるみで取り組んでいます。この一環としてイクボス講座を開催します。

【と　き】
11 月 20 日㈬　午後２時～４時

【ところ】
ハイトピア伊賀　５階多目的大研修室

【内　容】
○演題：ダイバーシティ×働き方改革 実践講座～女性も男性も多様性・生産性を発揮し、業績と生きがいを両立できる働き方改革とは～
○講師：合同会社 SSIN 代表　坂本　崇博さん

【対象者】
市内の企業・事業所・団体などの経営者、管理職、総務人事担当者など

【定　員】
100 人　※先着順

【申込方法】
住所・氏名・会社名・電話番号を、ファックスでお伝えください。

【申込期限】
10 月７日㈪～ 11 月 13 日㈬

【申込先】
商工労働課
FAX 22-9695

伊賀鉄道忍者線で「おはなしでんしゃ２」が走る！

電車の中でハロウィンをテーマに絵本や紙芝居の読み聞かせ会を開きます。仮装して参加もできます。

【と　き】 10月27日㈰　午後２時集合
○午後２時17分　忍者市（上野市）駅発車
○午後３時23分　忍者市（上野市）駅到着解散
【集合場所】 忍者市（上野市）駅前
【対象者】 未就学児・小学生と保護者　30組
【料　金】
○大人：500円　小学生：250円　未就学児：無料
○パーク＆ライド駐車場利用希望者は下記申込先までお問い合わせください。
【申込受付開始日】
10月９日㈬　午前10時～
【申込先】
伊賀鉄道上野市駅　☎21-3231
【問い合わせ】
上野図書館　☎21-6868　FAX 21-8999

忍者線（伊賀線）だより

こんなにあるんだ　みえの鉄道展

鉄道への関心や親しみを持っていただくためのイベント「こんなにあるんだみえの鉄道展」が、今年は伊賀市で開催されます。運転シミュレーション体験、制服試着体験、ビンゴ大会など、楽しいイベントが盛りだくさんです。来場者には、オリジナル鉄道カードのプレゼントもあります。

伊賀鉄道などの公共交通を利用して、ぜひご来場ください。

【と　き】 10月26日㈯
午前10時～午後４時
【ところ】 ハイトピア伊賀　５階
【問い合わせ】
交通政策課
☎22-9663　FAX 22-9694

明日に向かって ～差別をなくしていくために～

人権について考えるコラムです。

部落解放研究第52回全国集会に参加して　－企業用地整備課－

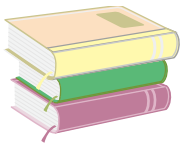
昨年、岡山県で行われた「部落解放研究第52回全国集会」に参加しました。テーマは「あらゆる差別の撤廃にむけた協働の取組を前進させ、『部落差別解消推進法』の具体化と包括的な人権の法制度の確立をめざそう」で、このような全国集会に参加したのは初めてでしたが、多くのことに気づくきっかけになりました。一般的にこのような集会は全体会と分科会で構成されており、基調講演のほかさまざまな取り組みなどの報告がされます。その中でも特に全体会の「『部落差別解消推進法』の具体化と部落解放行政の推進について」の報告に関心を覚えました。部落差別解消推進法は2016（平成28）年12月に制定施行された法律で、部落差別が未だに残っていることを認め、国や市などはこれを解消するための施策を講じることを明記した理念法です。そして各都道府県や市町村の条例制定を含め、具体的に差別の解消に向けて取り組むための指針といえます。

市では「伊賀市における部落差別をはじめとするあらゆる差別の撤廃に関する条例」を2004（平成16）年に制定、「人権尊重都市宣言」を2005（平成17）年に行い、人権意識の向上に積極的に取り組んでいます。報告ではインターネット上でも差別が存在し、差別の構造が複雑になっている現状があることなども報告されました。このような報告を聴くと、まだまだ差別が残っている現実と正しい知識の習得がいかに大切かを痛感し、自分自身の人権意識の変化を感じます。

皆さんもぜひ一度身近で行われている人権研修に参加してみてください。何か新たな気づきがあるかもしれません。何事も気づくことが第一歩です。皆さんで一歩を踏み出し、人権意識の高いまちづくりをめざしていきましょう。

■ご意見などは人権政策課 ☎22-9683　FAX 22-9684　✉jinken-danjo@city.iga.lg.jp へ

図書館だより



今月の新着図書

一般書

『古美術手帖 はじめての骨董』
ナカムラ　クニオ／著

古美術品といっても、その年代やジャンルには、さまざまなものがあります。この本は、初心者が古美術品に親しみたいと思ったときに、参考となる入門書で、陶磁器、書画など、テーマごとに代表的な人物や作品をイラストで紹介しています。

児童書

『名もなき花たちと』　小手鞠　るい／著

戦後、アメリカ兵と日本人女性のあいだに生まれ、日本のあちこちに捨てられた戦争孤児たち。彼らを引き取るための施設「エリザベス・サンダース・ホーム」を設立した女性・澤田美喜と、そこで育った２千人以上の子どもたちとの家族の物語です。

《問い合わせ》
上野図書館　☎21-6868　FAX 21-8999
いがまち図書室（いがまち公民館内）　☎45-9122
島ヶ原図書室（島ヶ原会館内）　☎59-2291
阿山図書室（あやま文化センター内）　☎43-0154
大山田図書室（大山田公民館内）　☎47-1175
青山図書室（青山公民館内）　☎52-1110

■一般書

『鳥羽・志摩の海女』　塚本　明／著
『消えた巨大生物』　エマニュエル･グルンドマン／著
『イラストでわかる怒らずのばす育て方』
篠　真希／著

■児童書

『タコのターくんうみをでる』
内田　麟太郎／作、井上　コトリ／絵
『かっこいいぞ！ひこうき大集合』
イカロス出版／発行
『奈良監獄物語』　寮　美千子／文、磯　良一／絵

■絵本

『どっち？』　まつおか　たつひで／さく
『うみへいったちいさなカニカニ』
クリス・ホートン／作
『おおいなるだいずいちぞく』
はしもと　えつよ／作・絵

図書館（室）からのお知らせ

◆いろんなコトバでえほんを楽しもう

日本語や外国語で、絵本などの読み聞かせを行います。

【と　き】 10月26日㈯　午前10時30分～
【ところ】 上野図書館　２階視聴覚室
【問い合わせ】 上野図書館

◆上野図書館休館のお知らせ

10月14日㈪･祝～21日㈪
特別図書整理のため休館します。
※休館中は図書返却ポストをご利用ください。
※10月の「郷土の歴史夜咄会」はありません。

◆阿山図書室休室のお知らせ

10月28日㈪～11月５日㈫
「あやま展覧会」開催のため休室します。
※休室中はブックポストをご利用ください。

10月の読み聞かせ

絵本の読み聞かせや紙芝居、手遊びなどをします。
（30分～１時間程度）

と　き		ところ	催物（読み手）
８日㈫	10：30～	阿山図書室	読み聞かせの会（はあと＆はあと）
11日㈮	11：00～	青山子育て支援センター	読み聞かせ会（ネエ・よんで）
12日㈯	10：30～	上野図書館	おはなしの会
		大山田図書室	おはなしたいむ（きらきら）
15日㈫	10：30～	大山田図書室	あかちゃんたいむ・ミニおはなし会
	11：30～	青山図書室	おとなカフェ（おとな対象）
18日㈮	10：00～	いがまち図書室	絵本の時間（お話の国アリス）
20日㈰	10：30～	阿山図書室	読み聞かせの会（はあと＆はあと）
23日㈬	10：30～	上野図書館	おひざでだっこのおはなし会
30日㈬	11：00～	青山図書室	おはなしなあに？
11月6日㈬	10：30～	青山子育て支援センター	あかちゃんこんにちは（どようっこクラブ）

10月の二次救急実施病院

⊙各病院の受け入れ体制

日	月	火	水	木	金	土
		1 名張	2 岡波	3 名張	4 上野	5 名張
6 名張	7 岡波	8 上野	9 岡波	10 名張	11 上野	12 上野
13 岡波	14 岡波	15 名張	16 岡波	17 名張	18 上野	19 名張
20 名張	21 岡波	22 上野	23 岡波	24 名張	25 上野	26 上野
27 岡波	28 岡波	29 名張	30 岡波	31 名張	＊小児科以外の診療科です。	

※重症者が重なり、診察できない場合があります。また、非当番日は救急の受け入れを行いません。
※二次救急（重症）の人が対象です。

≪実施時間帯≫ 平日：午後5時～翌日午前8時45分
土・日・祝日：午前8時45分～翌日午前8時45分

≪実施時間帯（岡波総合病院）**≫**
月曜日：午後5時～翌日午前9時　水曜日：午後5時～翌日午前8時45分　日曜日：午前9時～翌日午前8時45分
※月・水曜日が祝日の場合、午前9時～翌日午前8時45分

救急車での搬送限定ではありませんが、必ず事前に連絡が必要です。
【上野総合市民病院（☎24-1111）】
【名張市立病院（☎61-1100）】
【岡波総合病院（☎21-3135）】

⊙伊賀市救急・健康相談ダイヤル24
☎0120-4199-22
心と体のさまざまな相談に、24時間体制でお応えします。
※通話料・相談料は無料です。

⊙伊賀市応急診療所（一次救急）【診療科目】 内科・小児科
【所在地】 上野桑町1615番地　☎22-9990
【診療時間】 月～土曜日：午後8時～11時
日曜日・祝日：午前9時～正午・午後2時～5時・午後8時～11時
※受付は、診療終了時刻の30分前までにお願いします。
◆夜間・日曜日・祝日診療を行っている医療機関は、**救急医療情報センターコールセンター（☎059-229-1199）**へお問い合わせください。

◆ 近畿の緊急消防援助隊が集結

緊急消防援助隊近畿ブロック合同訓練を行います

【問い合わせ】消防本部消防救急課　☎24-9116　FAX 24-9111　✉shoubou@city.iga.lg.jp

阪神淡路大震災をきっかけに誕生した、広域的な応援を行う緊急消防援助隊による近畿ブロック合同訓練を行います。松阪市・津市・伊賀市を訓練会場として、近畿2府7県の消防隊161隊（消防車両161台・防災ヘリコプター11機）が集結し、大規模な災害を想定した消火・救助・救急の総合訓練です。ぜひ見学にお越しください。

【と　き】
10月26日㈯　午後2時～6時30分

【ところ】
消防本部　訓練会場

【その他】
○消防本部駐車場・東部公民館駐車場は利用できませんので、㈱安永本社工場（緑ケ丘中町3860番地）の駐車場をご利用ください。
○訓練終了後から27日㈰にかけて、しらさぎ運動公園で野営訓練を行います。そのため、26日㈯正午～27日㈰午前10時頃までしらさぎ運動公園第1駐車場・第2駐車場は利用できません。

ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。
詳しくはお問い合わせください。

いがとこわか通信 vol.4

～三重とこわか国体をもっと知ろう～

1986（昭和61）年に山梨県富士吉田市で開催された第41回かいじ国体に参加し、現在、上野少年剣道教室で小中学生に指導されている松谷隆弘さんに話を聞きました。

Q．剣道を始めたきっかけを教えてください。

（松谷） 子どもの頃は親にさせられていたように記憶していますが、剣道を続けたお陰で忍耐力がつき、今の私があると言っても過言ではないと思います。

Q．かいじ国体に参加された印象を教えてください。

（松谷） 私が参加したのは高校３年生の時でした。国体では通常の全国大会よりも観戦者が多くて緊張するかなと思いましたが、意外と緊張せずに試合に臨めたことを覚えています。

Q．とこわか国体への思いを教えてください。

（松谷） 地元開催なので、国体が盛大に行われてほしいと思いますし、これをきっかけに剣道界も盛り上がってほしいと思います。

Q．市民の皆さんへメッセージをお願いします。

（松谷） 剣道競技はゆめドームうえので開催されます。剣道とはどのようなものかぜひ試合を見て肌で感じてほしいと思います。

伊賀市の文化財 124

鍛冶町楼車解体修理

上野天神祭で使用される楼車の中には、老朽化により、祭りでの巡行に支障が生じているものがあります。このことから、上野文化美術保存会では、国・県・市の補助を受けて、楼車の修理を順次実施しています。

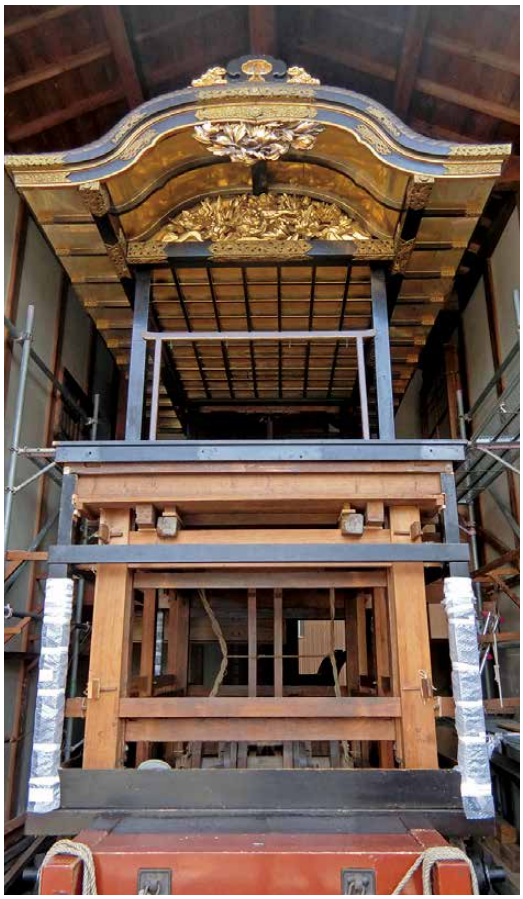
事業を進めるにあたって、上野天神祭復元修理事業等審議会を開催し、有識者の指導・助言のもと、祭屋台等製作修理技術者会に登録された業者などに修理を依頼しています。

鍛冶町の楼車「二東」は、構造にガタツキが生じたため、平成29年の祭り終了後から30年の祭りまでの間に修理を行いました。

楼車蔵で楼車を全て解体し、車輪修理は京都市の業者に依頼するとともに、各部材の破損箇所は矧木（はぎき）や埋木などによる修理を行い、できる限り元の部材を生かしました。また、屋根板の裏打ちは、長浜市の専門業者に依頼し、その後各部材を組み立てて元通りに戻し完成しました。昨年の祭りでは本来の形に甦り、スムーズに巡行されました。

この解体修理の結果、後唐破風（うしろからはふ）の裏側の渡り栓から、新たに天保10（1839）年の墨書が発見されたことから、楼車が天保から弘化年間にかけて製作されたことがあらためて確認されました。

今年の祭りでは、絢爛豪華な幕や金具だけでなく、楼車の構造にも着目してお楽しみください。



文化財課
☎22・9678
FAX22・9667

２０１９年（令和元年）１０月１日　発行／伊賀市　編集／企画振興部広聴情報課
〒５１８－８５０１　伊賀市四十九町３１８４番地　☎２２－９６３６　FAX２２－９６１７　https://www.city.iga.lg.jp/